

令和5年度 第2回 長浜市総合教育会議 次第

日時：令和6年2月5日（月）

場所：市役所本庁舎3階 特別会議室

1 開 会

2 市長あいさつ

3 意見交換

【テーマ：不登校児童生徒への支援策について】

■行政説明

- ・本市における不登校の現状（不登校児童生徒数、推移、要因等）
- ・国における不登校児童生徒への支援策
- ・本市における取組・支援状況（こどもサポートルームの状況等）
- ・本市における不登校児童生徒への支援策の方向性

※事務局説明終了後、ここまで内容について確認（質問等）の時間を設定

■SSW 北居様経験談

- ・SSW の仕事内容
- ・学校や民間フリースペースでのご経験

■意見交換

- ・本市の現状・取組及びSSW 北居様の経験談について全体を通しての質疑
- ・不登校児童生徒への支援に対する意見や提案
 - どのように学校に行きづらさを抱える子どもたちに寄り添うか
 - どのように子どもたちの学びの場を保障するか 等

4 その他

5 閉 会

令和5年度 第2回 長浜市総合教育会議 出席者名簿

令和6年2月5日(月)

1 構成員

役 職	氏 名
市 長	浅見 宣義
教 育 長	織田 恭淳
教 育 委 員	前田 康一
教 育 委 員	中村 亜紀
教 育 委 員	松宮 誠也
教 育 委 員	兼子 貴絵
教 育 委 員	前川 加奈子

2 話題提供者

役 職	氏 名
スクールソーシャルワーカースーパーバイザー	北居 理恵

3 事務局

役 職	氏 名
教育部長	内藤 正晴
教育委員会事務局次長	山岡 万裕
教育委員会事務局次長	東野 裕賢
教育委員会事務局管理監	為永 智子
教育改革推進室長	成田 健
教育指導課長	高山 義雄
教育指導課 子ども・学校支援係長	林 孝之
教育指導課 主幹	北村 友紀
教育指導課 教育センター長	橋 憲照
教育指導課 教育センター教育相談室長	天野 真知子
すこやか教育推進課長	河合 保
幼児課長	今田 元宏
未来創造部長	中嶋 克之
未来創造部次長	森 宏志
未来創造部未来こども若者局長	村崎 晴美
政策デザイン課長	柴田 拓也
政策デザイン課長代理	服部 泰治
政策デザイン課 企画経営戦略係長	山崎 悠司
政策デザイン課 主事	秋野 拓馬
こども若者応援課長代理	稲葉 悦子

令和5年度 第2回 長浜市総合教育会議

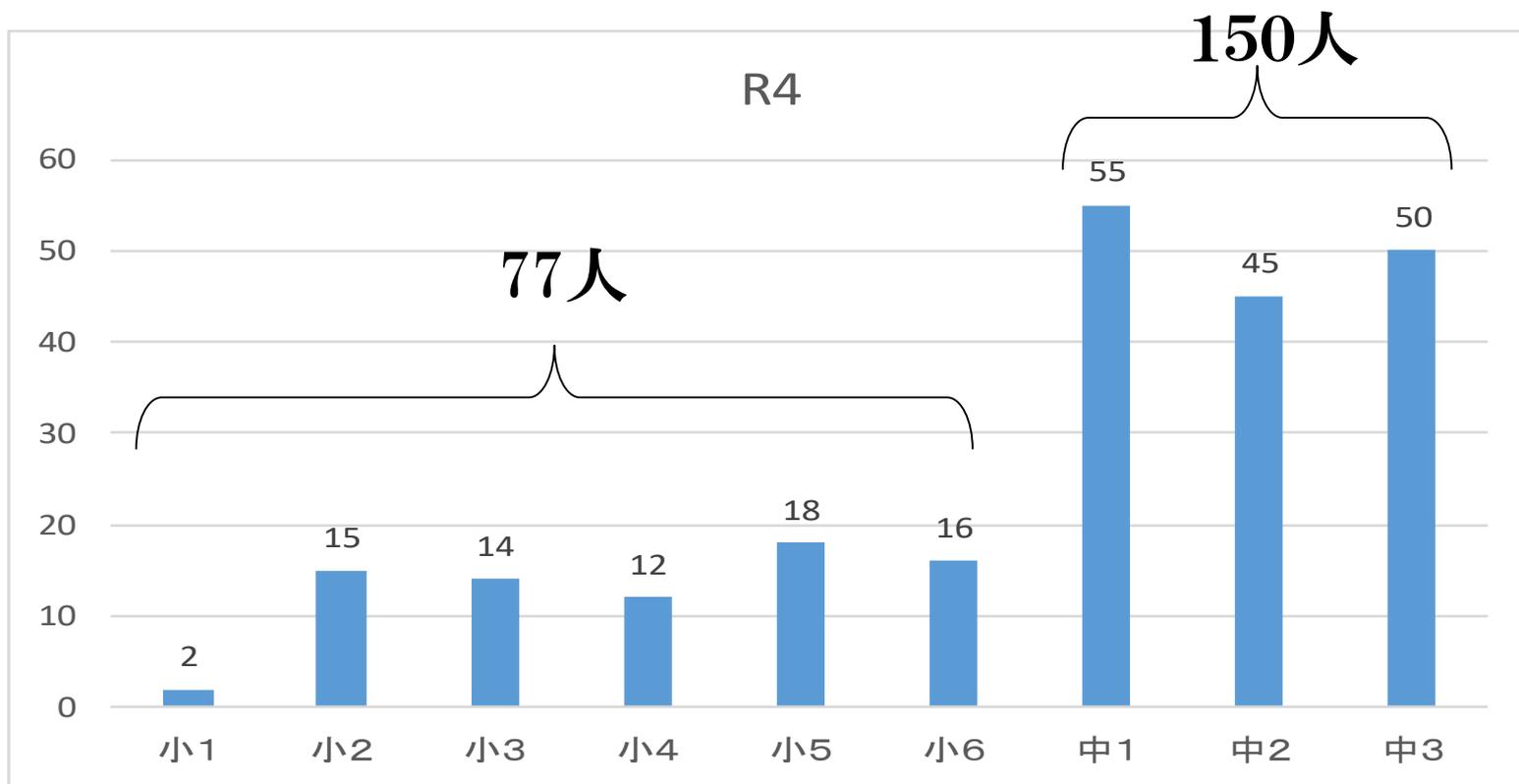
不登校対策の現状や課題について

令和6年2月5日（月）

1 本市の現状

1 本市の現状

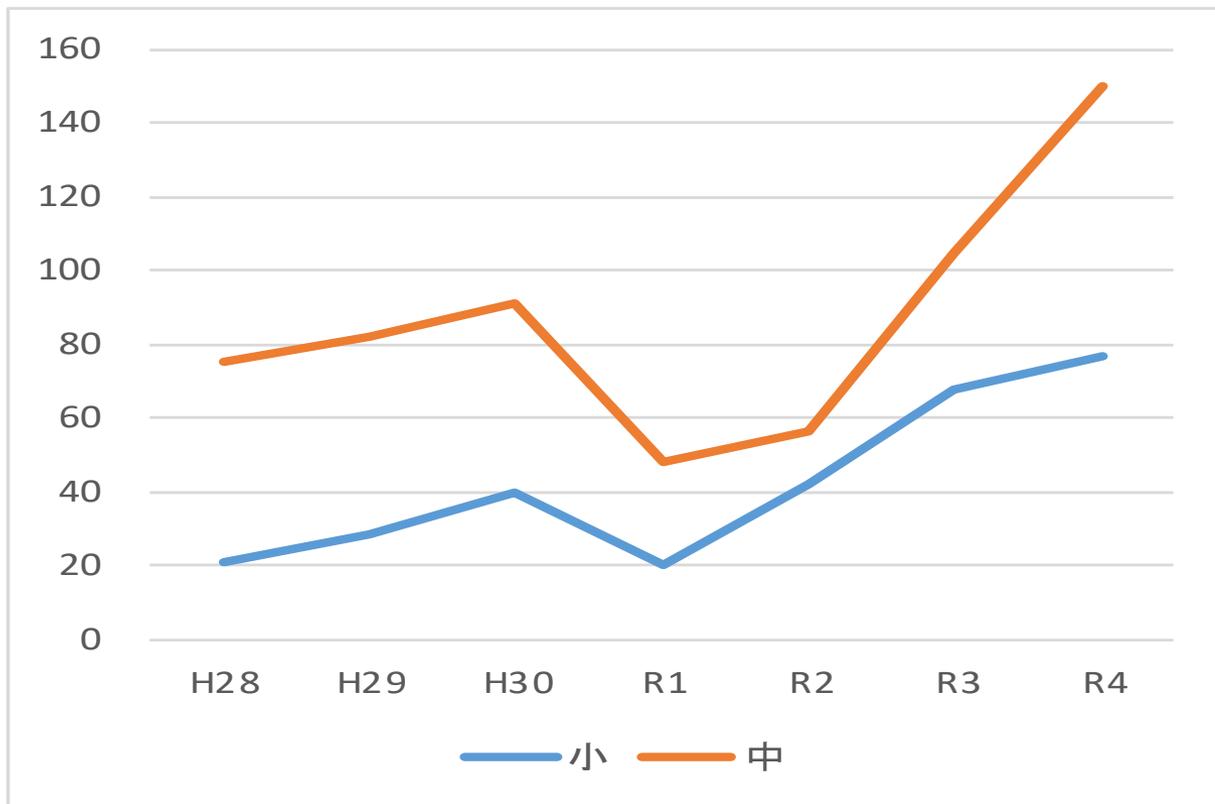
- ✓ 令和4年度の本市の不登校児童生徒数は、小学校で77人、中学校で150人となり、過去最多人数である。
- ✓ 中学校の不登校生徒数は、小学校の約2倍となっている。



1 本市の現状

- ✓ 令和元年度は、小学校、中学校とも減少したが、令和2年度からは増加に転じ、令和4年度は過去最多となった。

市立学校における不登校児童生徒数の推移 (人)



中学校

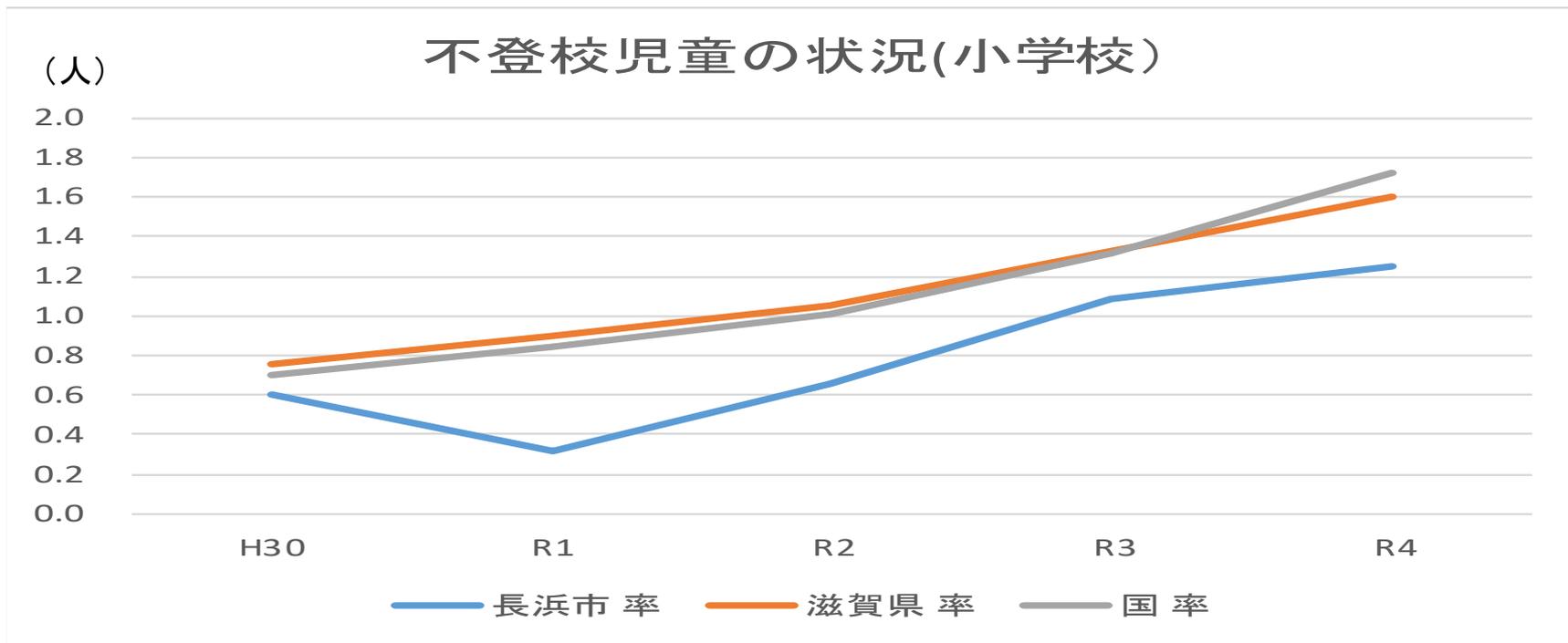
→令和元年度の約3倍

小学校

→令和元年度の約4倍

1 本市の現状

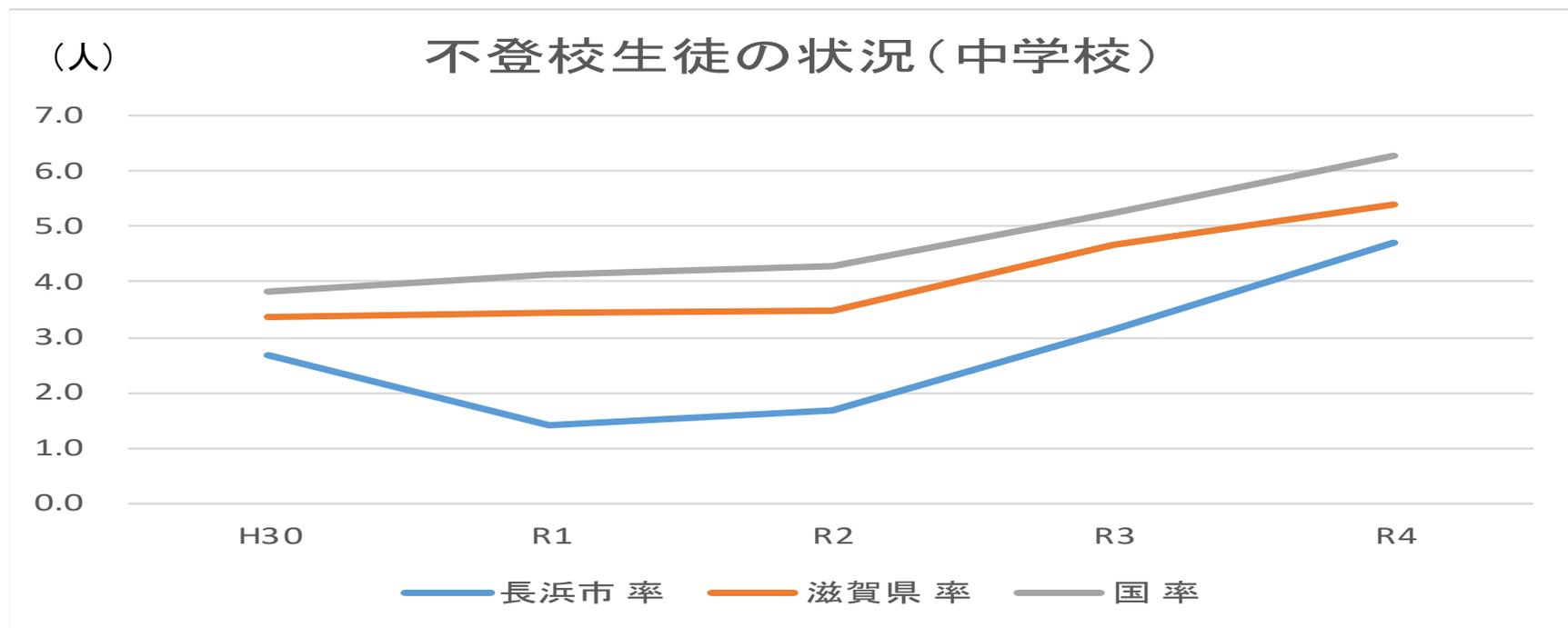
- ✓ 令和4年度の調査によると、国・県においても、小学校の不登校児童数、100人当たりの不登校児童数とも、過去最大人数である。



		H30	R1	R2	R3	R4
長浜市	率	0.6	0.3	0.7	1.1	1.3
滋賀県	率	0.8	0.9	1.1	1.3	1.6
国	率	0.7	0.8	1.0	1.3	1.7

1 本市の現状

- ✓ 令和4年度の調査によると中学校の不登校生徒数、100人当たりの不登校生徒数とも、小学校同様過去最大人数である。



		H30	R1	R2	R3	R4
長浜市	率	2.7	1.4	1.7	3.2	4.7
滋賀県	率	3.4	3.4	3.5	4.7	5.4
国	率	3.8	4.1	4.3	5.3	6.3

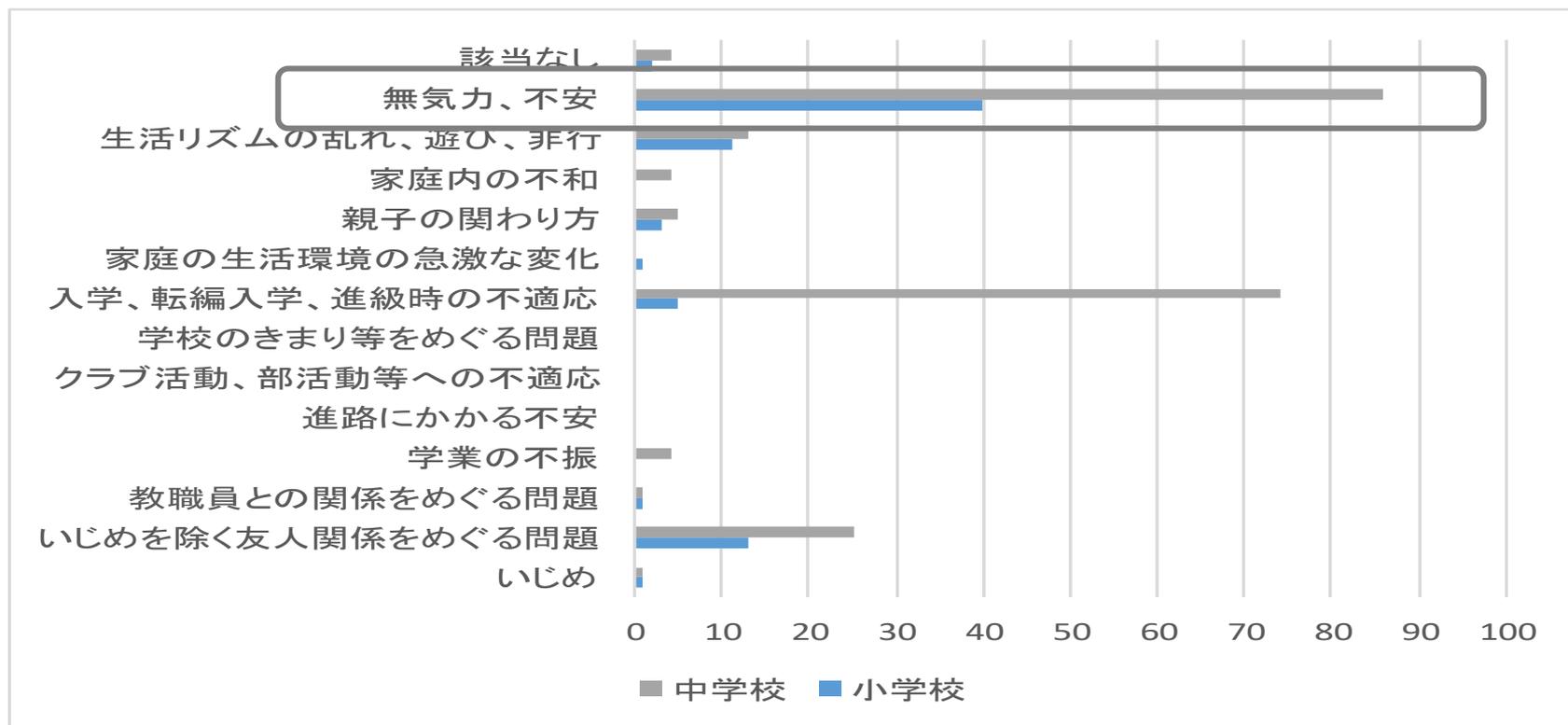
1 本市の現状

✓ 小・中学校ともに不登校の要因の半数以上が「無気力・不安」

※「令和4年度 長浜市立小・中学校における児童生徒の問題行動・不登校等の調査結果」より

令和4年度市立小・中学校における不登校の主たる要因

※教員が回答



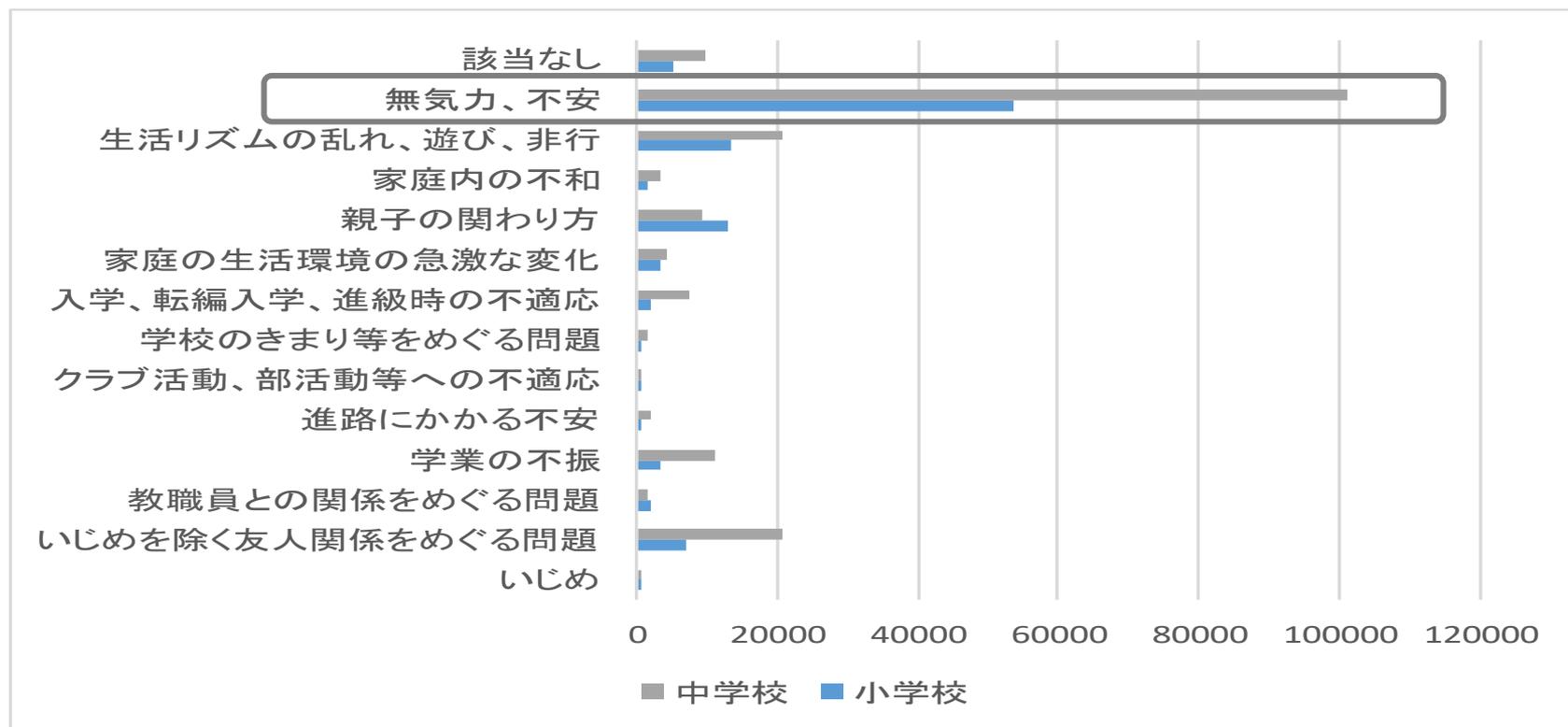
1 本市の現状（全国）

✓ 小・中学校ともに不登校の要因の半数以上が「無気力・不安」

※「令和4年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について」より

令和4年度全国の小・中学校における不登校の主たる要因

※教員が回答



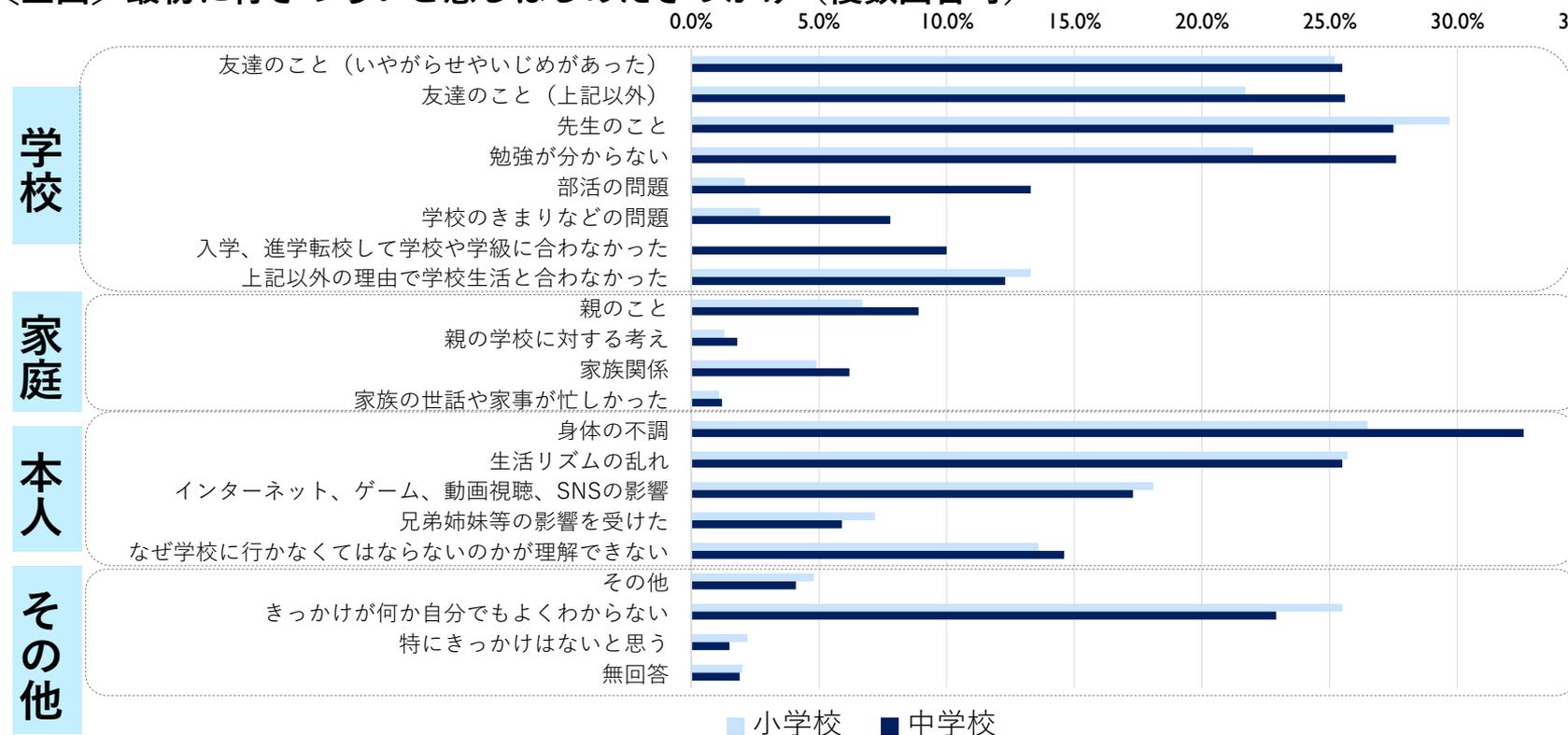
1 本市の現状（全国）

✓ 文部科学省が不登校児童生徒本人等に対し、直接、アンケート調査を実施したところ学校や家庭など多種多様な要因がその背景にあることが判明

※「不登校児童生徒の実態把握に関する調査」（R2／文部科学省）より

〔全国〕 最初に行きづらいつ感じはじめたきっかけ（複数回答可）

※本人が回答



2 国の基本的な考え方

2 国の基本的な考え方

(平成28年12月14日公布)

義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律

個々の不登校児童生徒の休養の必要性を踏まえ、状況に応じた学習活動が行われるよう必要な措置を講ずる。

(平成29年3月31日)

義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する基本指針

学校と民間団体との連携、ICT等を通じた支援等、多様で適切な学習活動の重要性及び休養の必要性を踏まえた支援

(令和元年10月25日)

不登校児童生徒への支援の在り方について（通知）

- 「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的にとらえて、社会的に自立することを目指す。
- 不登校の時期が休養等の積極的な意味を持つことがある一方で、学業の遅れなど社会的自立へのリスクが存在することに留意する。

2 国の基本的な考え方

「不登校に関する調査研究協力者会議報告書～今後の不登校児童生徒への学習機会と支援の在り方について～」(令和4年6月)

◆ 誰一人取り残されない学校づくり

(専門職を活用したチーム学校による魅力ある学校づくり、心の健康保持に係る教育の実施)

◆ 不登校傾向のある児童生徒に関する支援ニーズの早期把握

(個別の学習支援や相談支援を実施するための「校内教育支援センター」の充実)

◆ 不登校児童生徒の多様な教育機会の確保

(特色ある不登校特例校の設置推進、フリースクール等民間団体との連携促進、ICT等を活用した「不登校児童生徒支援センター」(仮称)の設置促進)

◆ 不登校児童生徒の社会的自立を目指した中長期的支援

(SC・SSWによるオンラインの活用等による教育相談の充実、関係機関等が連携した家庭教育支援の充実)

2 国の基本的な考え方

(令和5年3月31日)

誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策 「COCOLOプラン」

小・中・高の不登校が約30万人に急増。90日以上の不登校であるにもかかわらず、学校内外の専門機関等で相談・指導等を受けられていない小・中学生が4.6万人に。

⇒不登校により学びにアクセスできない子供たちをゼロにすることを目指す

1. 不登校の児童生徒全ての学びの場を確保し、学びたいと思った時に学べる環境を整える
2. 心の小さなSOSを見逃さず、「チーム学校」で支援する
3. 学校の風土の「見える化」を通じて、学校を「みんなが安心して学べる」場所にする

3 本市の取組

3 本市の取組

本市の不登校対策の概観

校内支援

- すべての子どもの安全・安心を保障
- 子ども自ら学ぼうとする授業（長浜スタイル）
- 担任等による丁寧な支援
- 校内支援体制づくり（スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの活用）
- 校内教育支援センター（別室）等居場所の確保
- ICTを活用した学習支援

校外支援

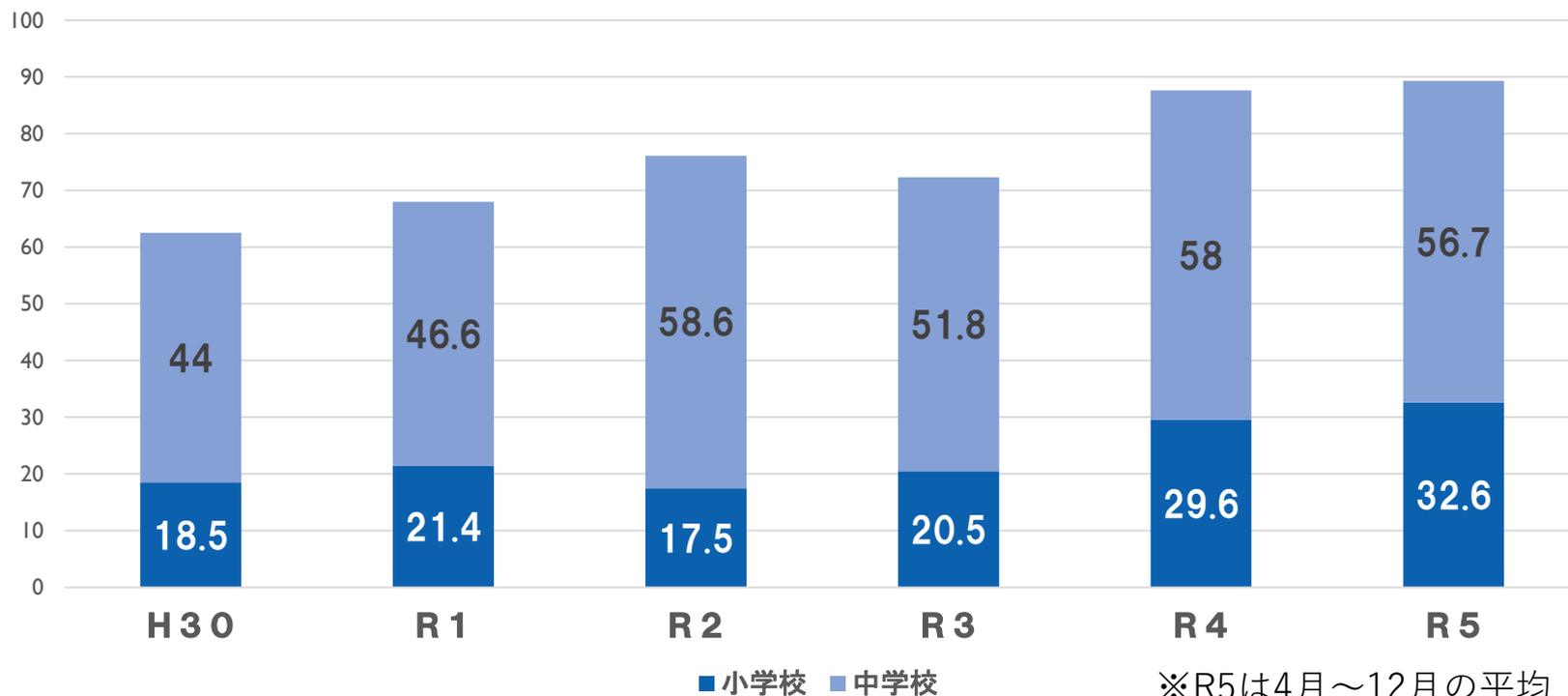
- 発達課題への専門的指導（長浜市教育センター）
- 専門指導員による保護者や学校からの不登校対応に関する相談（長浜市教育センター）
- 福祉部局等との連携
- こどもサポートルーム「なないろ」での支援
- フリースクール等との連携

3 本市の取組

①校内教育支援センター(別室)等での指導

- ✓ 校内教育支援センター(別室)等を利用している児童生徒は**増加傾向である**。特に**小学校の利用者数が大幅に増加**している。
(人)

1ヶ月当たりの平均校内教育支援センター(別室)等利用者数



3 本市の取組

②一人一台端末を活用した支援

- ✓ 一人一台端末を活用し、不登校児童生徒へ支援を実施している。

【取組内容】

- ・ A I 型ドリル（Qubena）を活用した学習支援をする。
 - ・ ロイロノート等を使って課題や学習動画を送信する。
 - ・ ロイロノート等を使って、担任等がメッセージを送信してコミュニケーションを図る。
 - ・ 授業をライブ配信する。
- ✓ 担任等とメッセージを互いに送信してコミュニケーションを図ること、一人一人の進度に合わせた課題で学習できるA I 型ドリルでの支援は有効。
 - ✓ 今後、更なる有効活用に向けて、効果・検証が必要。

3 本市の取組

③こどもサポートルーム「なないろ」での支援

- ✓ 本市の教育支援センターとして、二人一人の状態に合わせた学習や体験活動を通して社会的自立につなげる施設として市内6箇所に設置

子どもサポートルーム「なないろ」の配置状況

- …常設教室
- ☆…サテライト教室
(利用児童生徒がある時に開設)

教育支援センター

不登校児童生徒の一人一人に合わせた個別学習や相談などを行う場所。

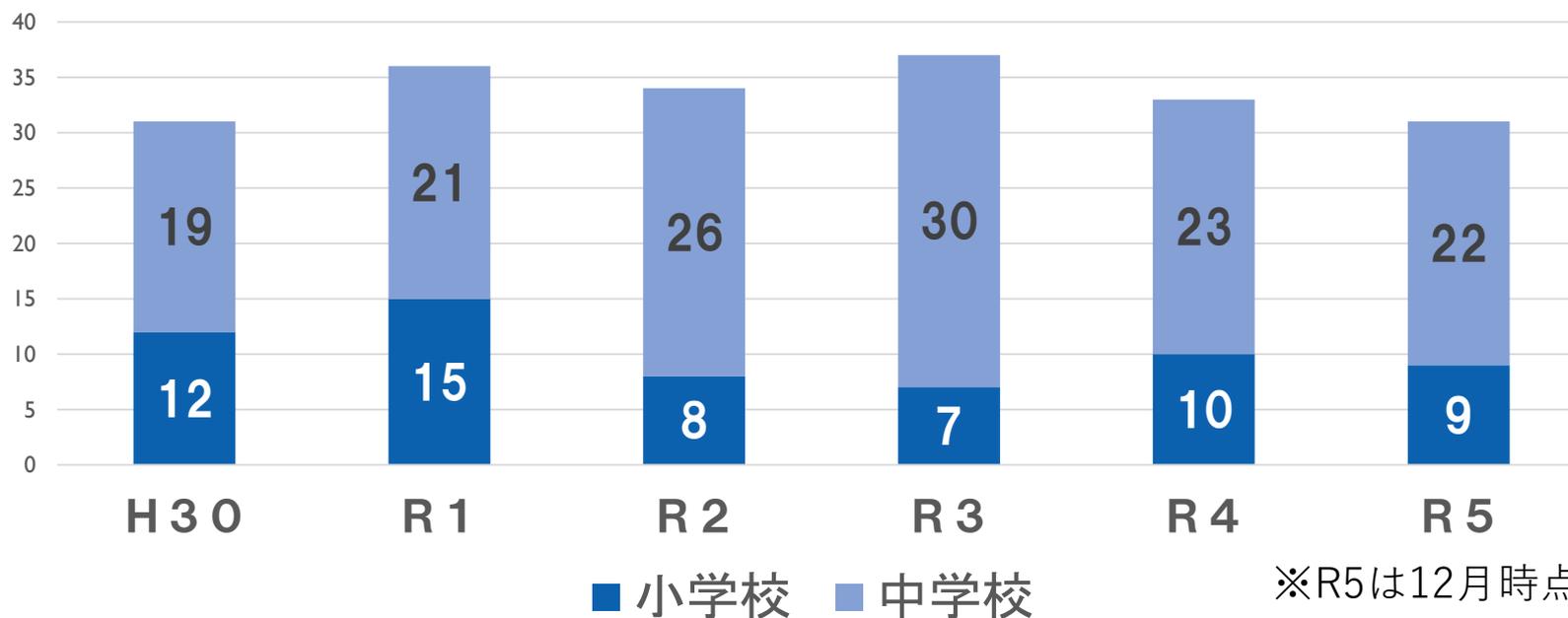


3 本市の取組

- ✓ 長浜市全体の不登校児童生徒数は大幅に増加しているが、こどもサポートルーム「なないろ」の登録者の総数は横ばいである。
- ✓ 校種別にみると、小学校より中学校の登録者数が多い。

こどもサポートルーム「なないろ」の登録者数

(人)



※R5は12月時点の数値

4 今後の方向性

4 今後の方向性

本市の目指すべき姿

子ども一人ひとりの状態に応じた、多様な学びの場や居場所を確保し、社会的な自立の機会を保障する

子どもの状態

登校できる

朝、起きづらい
行き渋りがある

欠席が
多くなる

登校できない

外出は比較的
できる

外出できない

支援策の方向性

①校内支援の充実

* 未然防止、早期発見、早期支援に係る取組、チーム学校による校内支援体制の強化

②校外支援の充実

* 学校以外での学習の場や居場所づくりを支援

③学びの多様化学校の検討

④教育と福祉との連携強化

・ 本人保護者の相談・支援 ・ 自立支援につなぐ

4 今後の方向性

①校内支援の充実

すべての子どもの安全・安心を保障する取組

- ✓ 魅力ある学校・学級づくり
- ✓ 分かりやすい授業…長浜スタイルの推進

「チーム学校」による支援体制の強化

- ✓ 学校が児童生徒理解を深めた上で信頼関係を構築するとともに、心理や福祉等の専門職（スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー）等を活用した「チーム学校」体制のもと、相談体制充実に向けて取り組む。
- ✓ 教職員の力量を向上
…「不登校対応にかかわる先生のための支援ガイドブック」を作成

校内教育支援センター（別室）等での指導の充実

- ✓ 教室には入りにくい、学校で学びたい児童生徒の居場所
- ✓ 人的配置や施設環境などの課題の解消と更なる充実に向けて検討

4 今後の方向性

②校外支援の充実

教育支援センター（こどもサポートルーム「なないろ」）の機能を強化

- ✓ 保護者や学校からの不登校対応に関する相談体制の充実・周知方法の検討
→不登校にかかわる支援の拠点に
- ✓ 社会的自立に向けた活動内容の検討

ICTを活用した学習支援の充実

- ✓ 一人一台端末の有効活用に向けて検討

フリースクール等民間施設との連携強化

- ✓ フリースクール等民間施設との情報交換・連携について検討
- ✓ 国や県の動向を注視しながら利用者（保護者）への財政支援について検討

4 今後の方向性

③学びの多様化学校(いわゆる不登校特例校)の検討

- ◆ 学びの多様化学校 (いわゆる不登校特例校)とは、不登校児童生徒の実態に配慮した特別の教育課程を編成して教育を実施する必要があると認められる場合、文部科学大臣が学校を指定し、特定の学校において教育課程の基準によらず、特別の教育課程を編成して教育を実施できることとしており、学校教育法の第1条の規定に基づく学校と位置付けられている。
- ◆ 令和5年4月時点で全国に24校が開校(うち公立14校)

大和郡山市立郡山北小学校・郡山中学校
分教室「ASU」(外観)



旧法務局首長所の建物のリノベーション

京都市立洛風中学校(職員室)



ソファのある職員室。ここで担任と朝、健康観察・話をして教室へ

4 今後の方向性

【先進地視察】大和郡山市立郡山北小学校・郡山中学校 分教室「ASU」

使っていない施設
をリノベーション



少人数での
学習



柔軟な教育課程

◆時間割（例：中学3年生）

	月	火	水	木	金
9:20~ 9:30	朝の会				
9:30~ 10:20	英語	国語	社会	数学	理科
10:30~ 11:20	理科	数学	英語	国語	社会
11:30~ 12:20	スポーツ	チャレンジ	チャレンジ	音楽	チャレンジ
12:20~ 13:00	昼食・昼休み				
13:00~ 14:30	ASU タイム	美術	技術	家庭科	スポーツ
14:30~	掃除・終わりの会				

※大和郡山市立郡山北小学校・郡山中学校
分教室「ASU」HPより

4 今後の方向性

③学びの多様化学校(いわゆる不登校特例校)の検討

- ✓ 先行事例の視察を実施
- ✓ 教育機会の確保のための有効な手立ての一つであると考えられるため、引き続き不登校特例校の設置の検討を進める。
- ✓ 令和6年度は、不登校児童生徒・保護者の「学びの多様化学校」へのニーズを調査していく。

(参考)

令和5年3月の文部科学省の通知※では、「今後早期に全ての都道府県・政令指定都市に設置されることを目指すとともに、将来的には希望する児童生徒が居住地によらず通えるよう、分教室型も含め全国300校の設置がなされることを目指す」とされている。

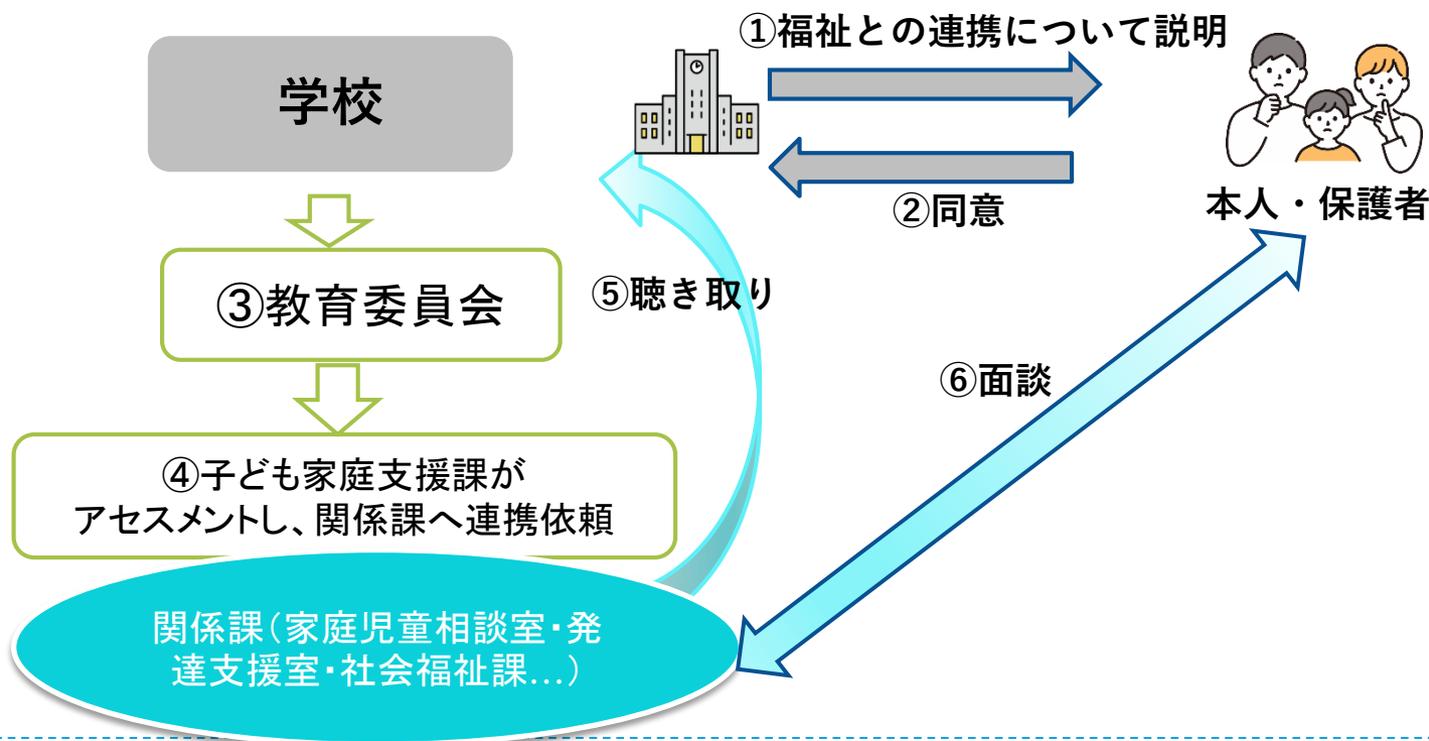
※「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策について（通知）」（令和5年3月31日）

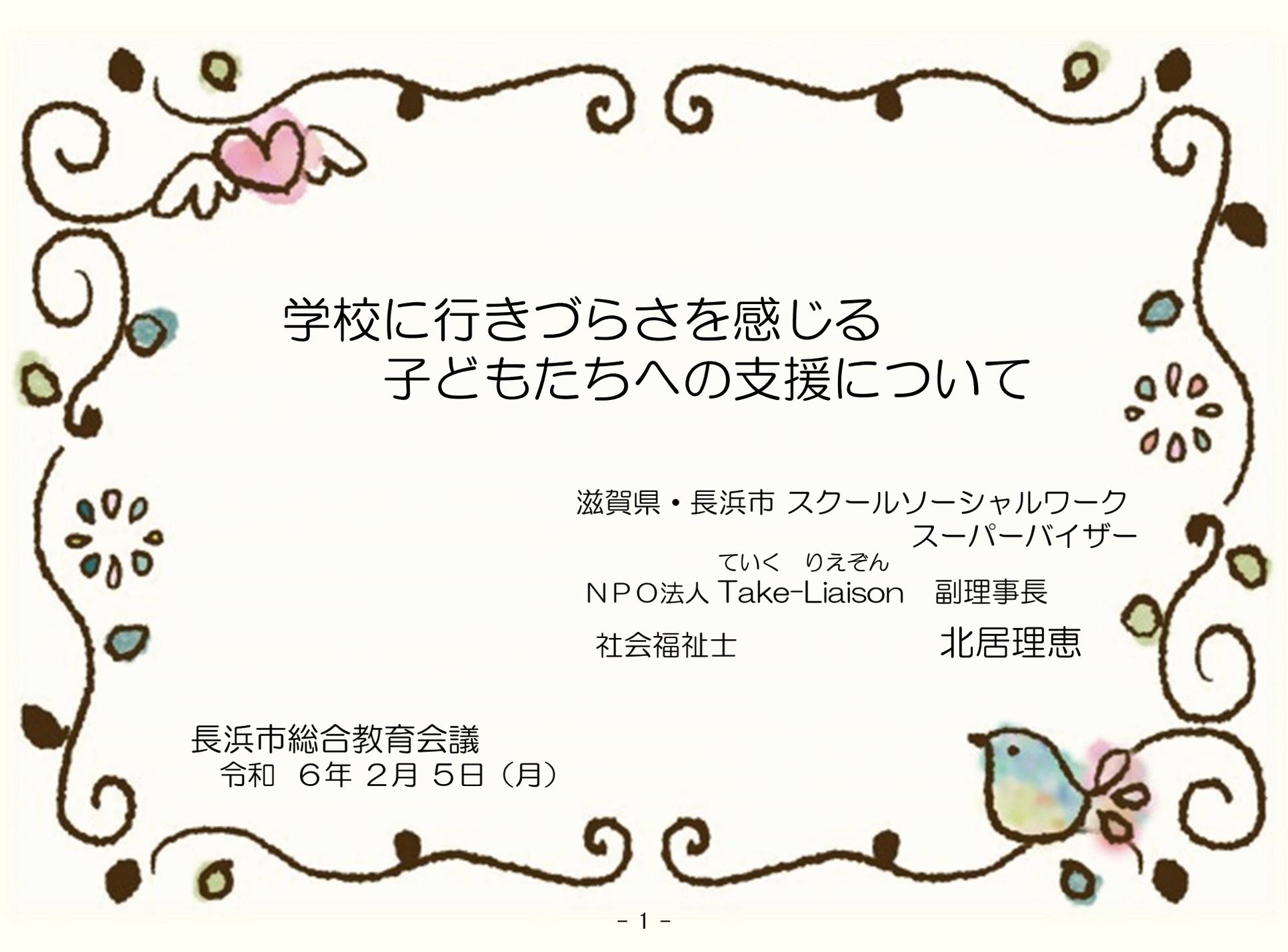
4 今後の方向性

④教育と福祉との連携強化

- ✓ 不登校生徒のうち、卒業後の支援を必要とされる場合には、在籍中に本人または保護者が福祉部局とつながる体制を構築。（特に中学校3年生は重点的に）

卒業後の支援を見据えた連携のイメージ





学校に行きづらさを感じる 子どもたちへの支援について

滋賀県・長浜市 スクールソーシャルワーク
スーパーバイザー

ていく りえぞん
NPO法人 Take-Liaison 副理事長

社会福祉士

北居理恵

長浜市総合教育会議
令和 6年 2月 5日 (月)

スクールソーシャルワーカーは・・・

学校のこんなニーズに対応しています

不登校

暴言暴力

学級の荒れ

保護者対応

虐待

子どもの貧困

手は打っているが、その対応が
ほんとうに合っているか
わからない

改善の兆しがなくどうして
いいかわからない・・・

いじめ

いじめが発覚。
学校のやるべきことは・・・



症状のアセスメント

なぜそうなのか・・・



適切な支援を一緒に探る

スクールソーシャルワーカーのおもな職務

児童生徒への直接支援
児童観察・・・学校・家庭
保護者面談
家庭訪問
機関訪問
ケース会議等

不適応症状の**アセスメント**

関係機関との
ネットワークの
構築・連携

支援の**プランニング**のサポート
& **実践**

保護者・先生方に対する
支援・相談・情報提供

学校チーム体制構築の
サポート



先生方や地域への**研修活動**

あらゆる方法により、4つの観点からアセスメント

愛着関係

0～5、6歳の家庭環境
十分な絆を築くことができたか
遊びや食事、入浴や就寝は
だれと？ いつから？

虐待・不適切養育

安心・安全が感じられる家か
お父さん(お母さん)のかかわり方
どんな時にどんなふうに怒られるか
過保護、過干渉、過期待の有無
衣食住が整うようみてもらえて
いるか

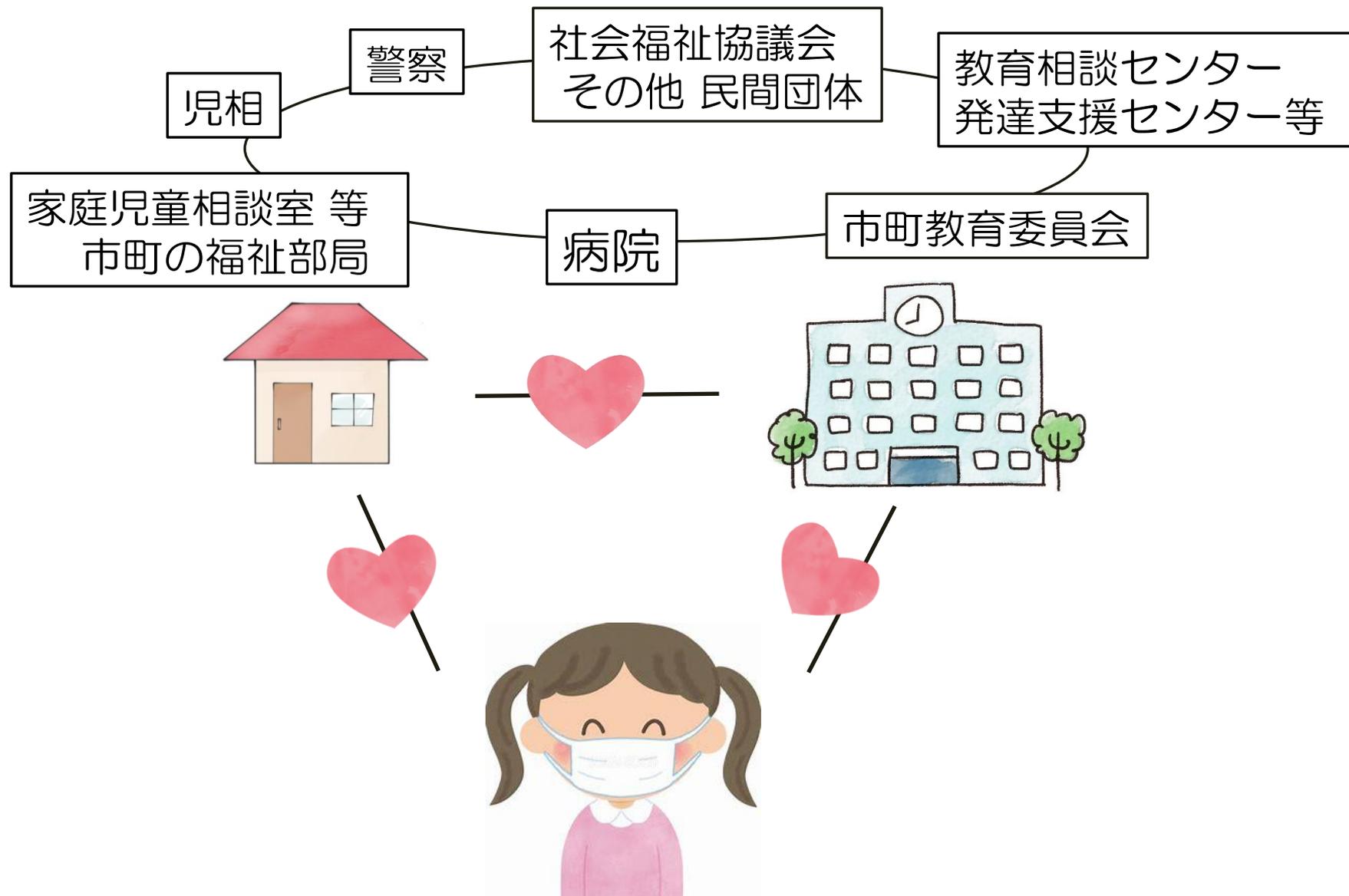
発達特性

コミュニケーションの特異性
能力の得意・不得意
“文字の認識、言葉の理解”
“図形の認識、動作性” “色覚”
感覚過敏 “聴覚、視覚、肌感覚”
多動、不注意、衝動性
など

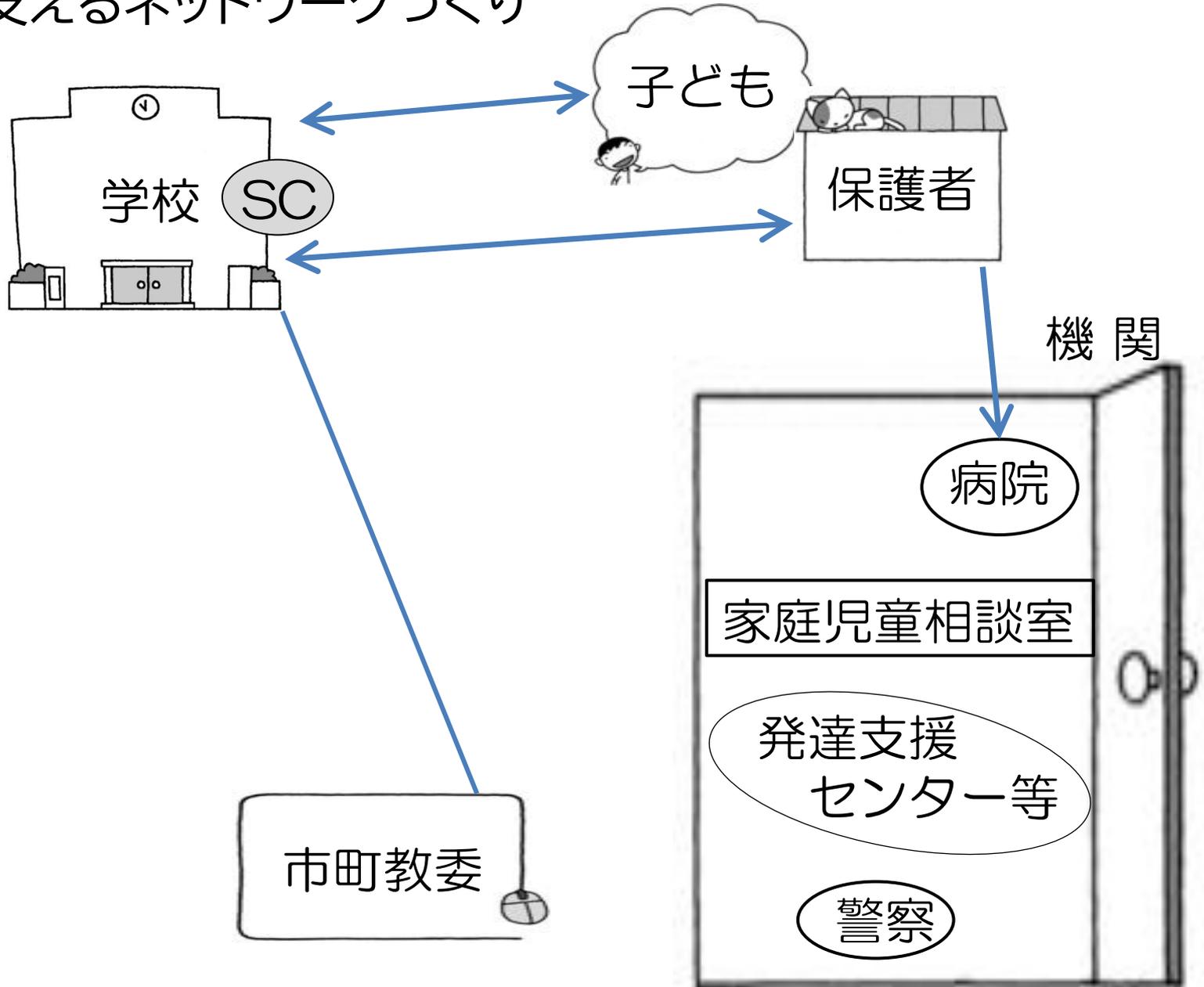
学校環境

先生・友だちとの関係
学級・クラブなどでの立ち位置
授業時間の不安と、
それに対する理解者の有無
教室環境

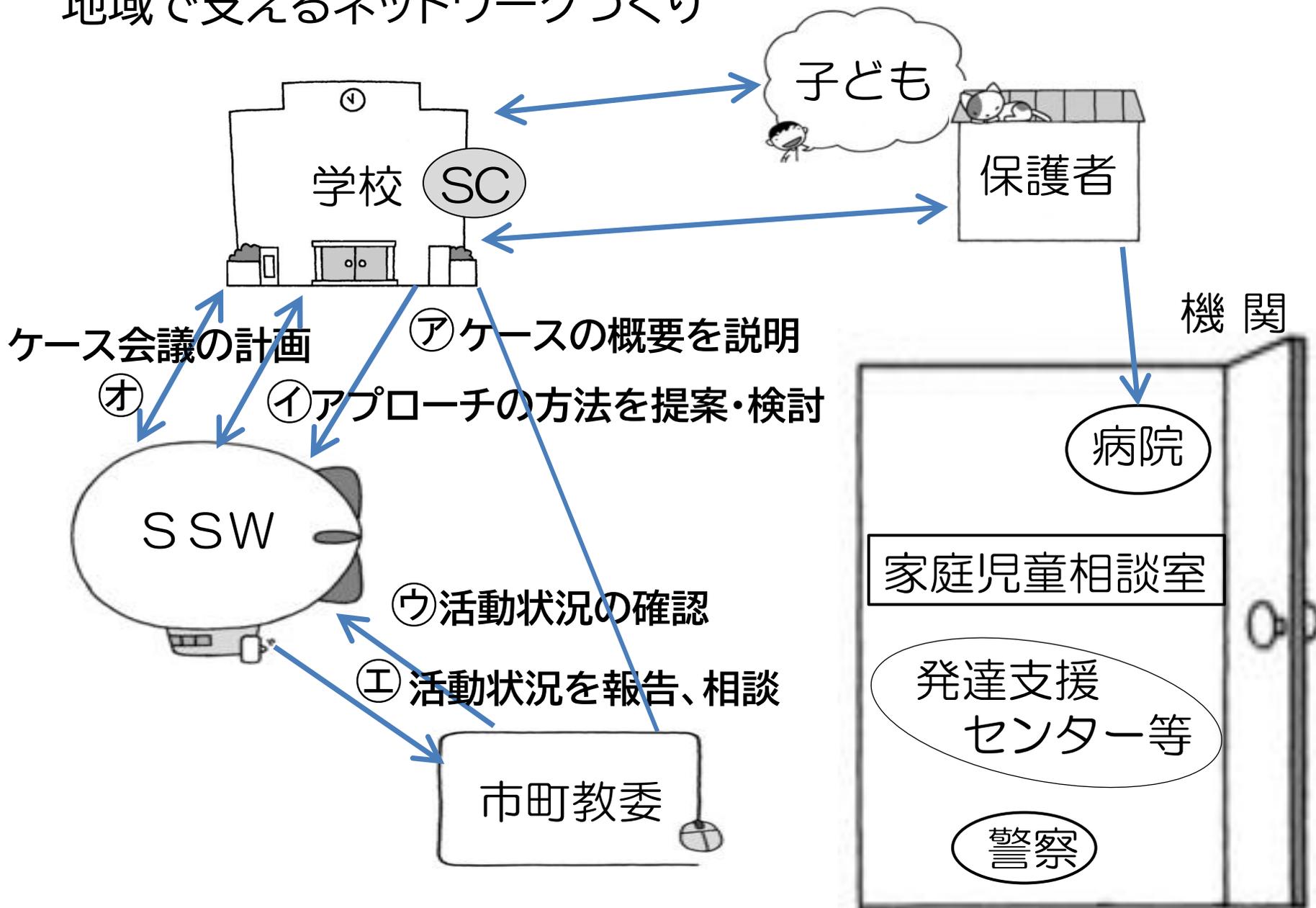
子どもが「幸せ」と感じる状況へ



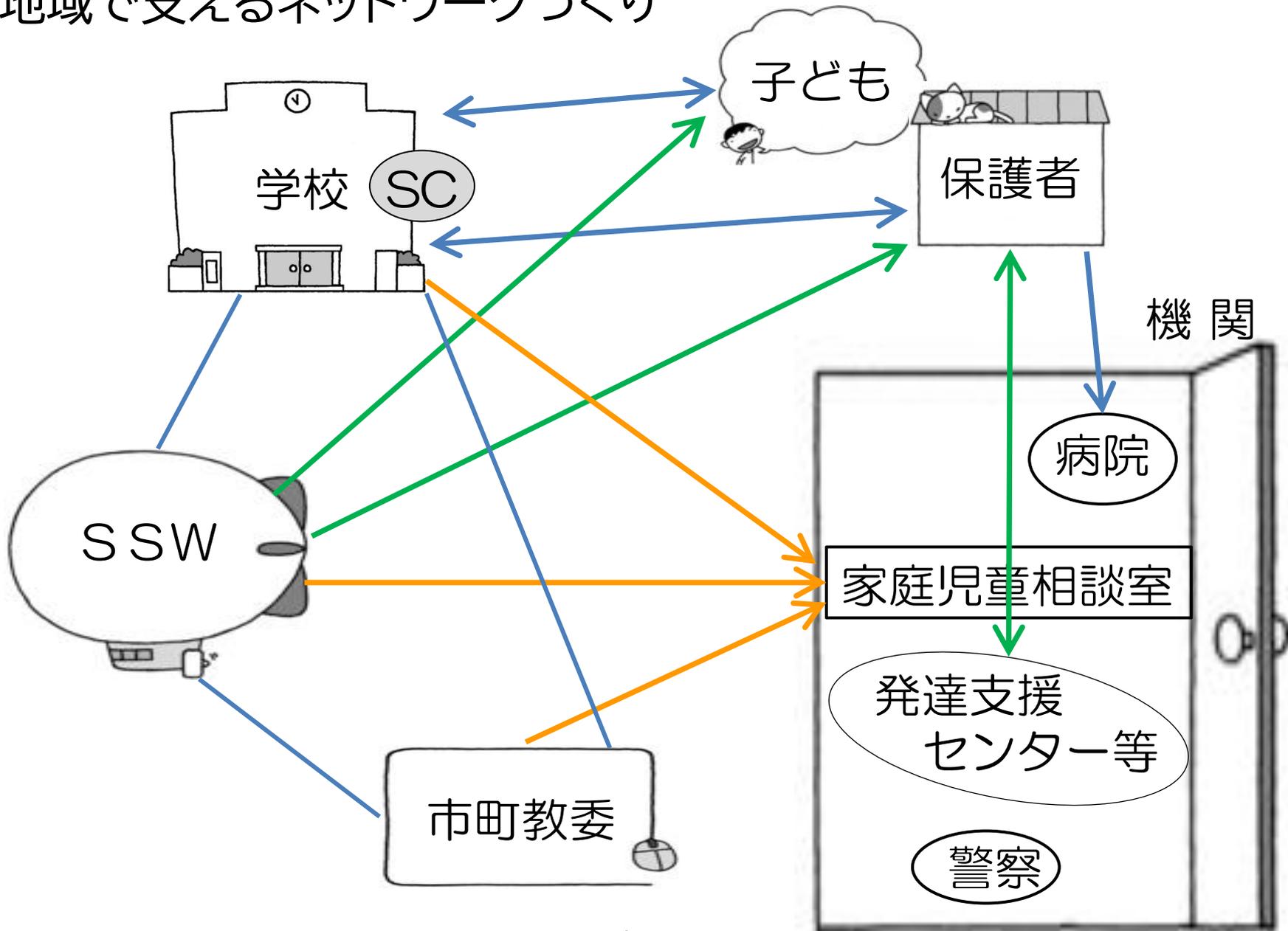
地域で支えるネットワークづくり



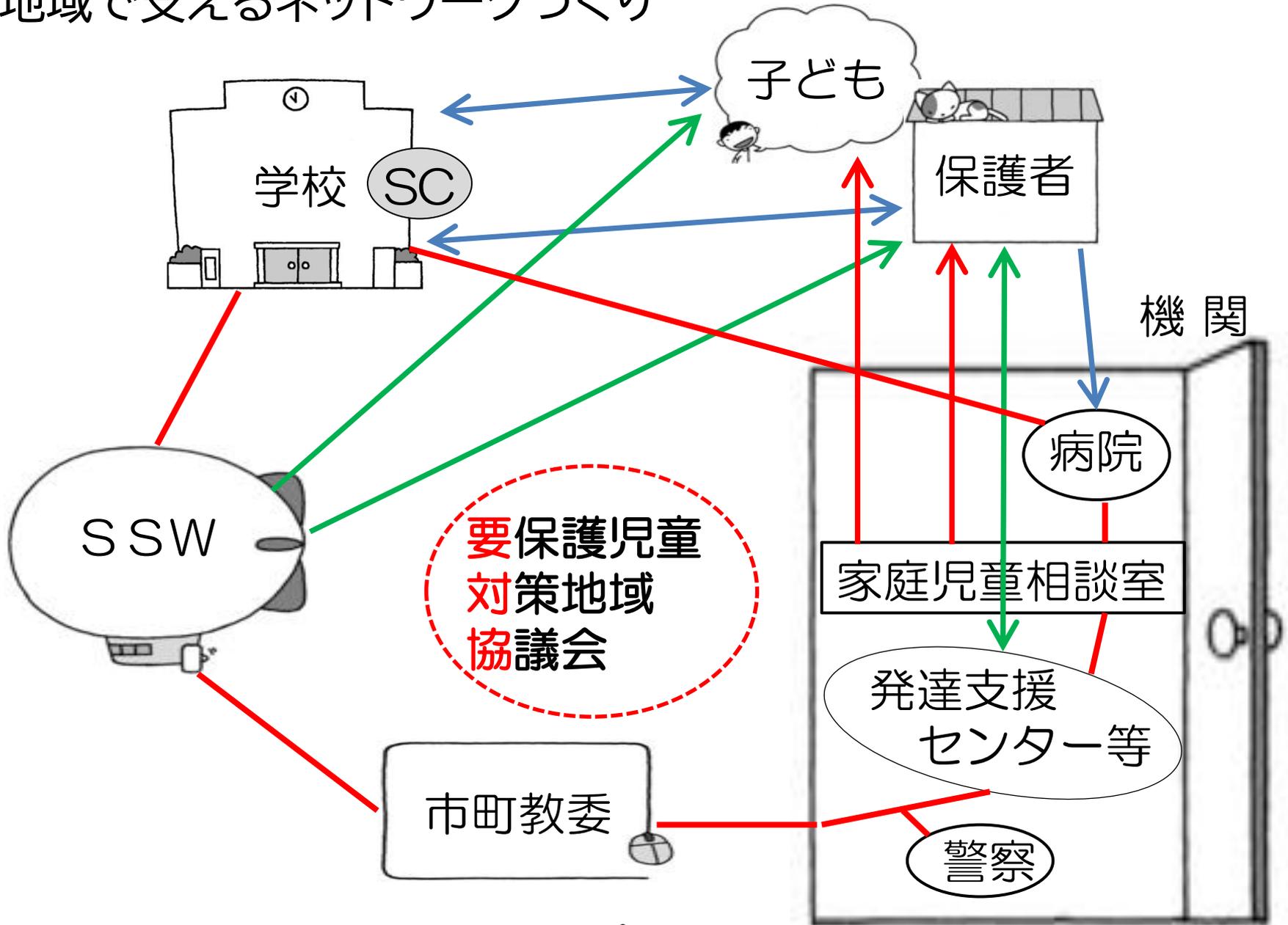
地域で支えるネットワークづくり



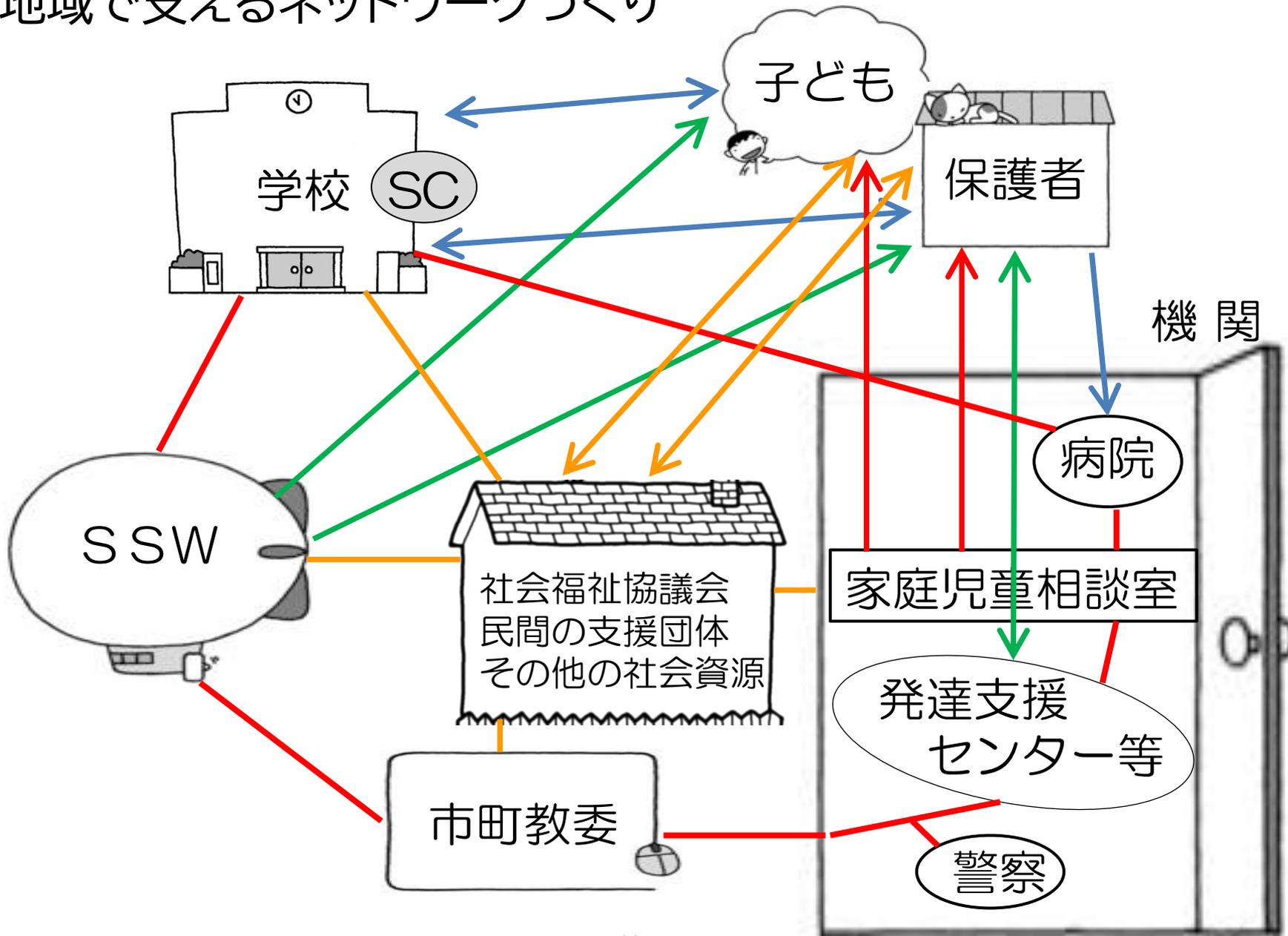
地域で支えるネットワークづくり



地域で支えるネットワークづくり



地域で支えるネットワークづくり



事例

ネグレクト・貧困問題・DVが背景にあるケース 小学校4年生男子Nくん

週1～2回の登校。もしくは放課後登校。友だちと仲よく遊べる優しい子。
コミュニケーション力もある。母子家庭(DVで離婚)。母は昼と夜のダブルワーク。

アセスメント ……子どもらしい甘え方をさせてもらえなかった環境により、
愛着欲求が根底にありエネルギーが湧かない。空腹もある。DVを見てきたことに起因する不安の高さもある。
人の言動に敏感で顔色をうかがってしまう。

支援目標 …… 愛着欲求が満たされ、安心して自分の力を発揮できる
生活状況を作ること。学ぶ場、学ぶ時間、元気の湧く時
間を、できる方法で確保していくこと。

支援のプラン、実践 ……

- 母親との定期的な面談。状況把握、ねぎらいとエンパワー。
できることでの愛情表現のすすめ。
- 母子自立支援員さんへの紹介。連携。要対協での情報共有。
- 先生の家庭訪問による関係づくり。放課後登校。別室登校。
- 「子ども食堂」、「フリースペース」へのつなぎ。連携。



民間団体としての活動より

ていく りえぞん
NPO法人Take-Liaison 2019.9～ (“子ども食堂”は2016.1～)
～子どもとおとなのつながりづくり居場所づくり～

湖北子ども食堂

「Liaison (りえぞん)」

おもに第2水曜日 16:30～19:30

子どもの夕刻サポート「トワイライトステイ」

「トワイライト Liaison」

その他の水曜日 17:00～20:00

毎週月曜日 16:00～19:00

学校に行きづらい日や学校帰りの

「ほわっと Liaison」

月曜日 16:00～19:00

水曜日 14:00～16:00 見学・体験デー

金曜日 14:00～17:00



「ウエルカムハウス Liaison」
米原市長沢1650-2

地域のつながり創造事業

「コミュニティカフェ Liaison」 毎週土or日曜日 14:00～17:00

学校に行きづらい日や学校帰りの

「ほわっとLiaison」

月曜日 16:00～19:00

水曜日 14:00～16:00 見学・体験デー

金曜日 14:00～17:00

利用している子ども:長浜市 6名ほど
米原市 6名ほど

小学生4名 中学生3名 高校生5名



子どもいきいき応援室

ほわっとLiaison

リエゾン

まずは、ほわっと身を置いて

心が喜ぶことをしよう

そのうち出てくる

わかりたいこと 知りたこと…

そこからあなたの学びがはじまるよ

学校に行かない日や
学校帰り…
ちょっと一息
つける場所

開いてる日 … 月曜日 16:00~19:00
水曜日 14:00~16:00 見学・体験デー
金曜日 14:00~17:00

どの曜日もお好きな時間にきてください。

子どもだけでも保護者さんと一緒に大丈夫です。



利用料 … 1回200円。ドリンク・おやつ付き（月曜日は軽食付き）です。

持ちもの … やりたいもの、見せたいものがあれば持ってきてください。

※ 送迎が必要な場合はどうぞ相談ください。（2km以上は、片道一回100円）

※ 保護者さんのご相談も受け付けております。
（社会福祉士、スクールソーシャルワーカーが対応します。）

個人情報は
支援に関わる者だけで
共有させていただきます。



運営は … NPO 法人 Take-Liaison

<https://www.facebook.com/TakeLiaison/>

場所は … 〒521-0061 米原市長沢1650番地2

ウエルカムハウス「Liaison」（長浜ドーム近く 旧8号線沿い）

連絡先 … 080-2448-4355 chicomachi@gmail.com



「教育の機会確保法」に基づく“学校との連携”

「不登校児童生徒への支援の在り方について(通知)」

令和元年10月25日



- ・校長先生との共通理解
- ・担任の先生、教育相談との電話連絡
- ・保護者さんとのメールでのやりとり等



長所や得意を活かした
社会的自立のために

通室につながる経緯の事例

中学3年生 男子

お父さんが連れてこられた。中2から登校しづらく。週1回の来室。おもにお母さんの送迎となる。激しいパニックがあり、主治医さんと連携がしたくて、お母さんの同意を得て市へ相談。→ ケース会議
(Dr. 小中学校、教育センター、子育て支援課)
月1～2回の放課後登校ができるようになった。
私立通信制に入学後も週1回通室。電車の駅まで迎え。

小学6年生 女子

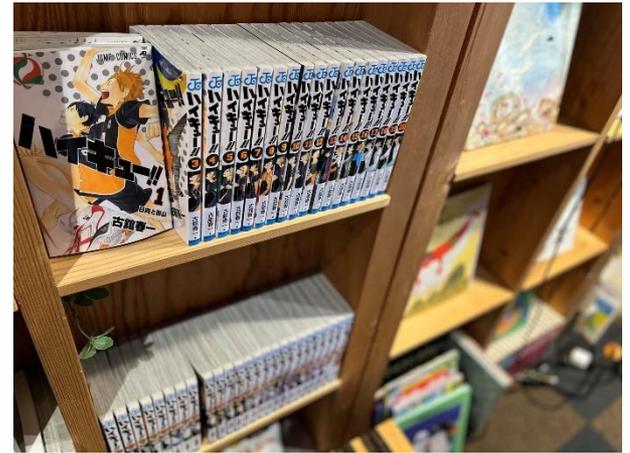
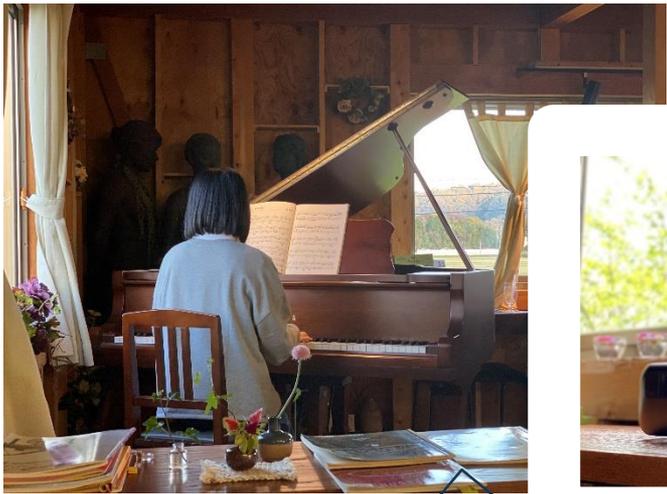
学校の先生から紹介されたスクールソーシャルワーカーがつなぐ。小5から登校しづらかった。週1～2回の来室。お母さんとまったりすごす。やがて、母なしでも大丈夫に。抜毛が治る。修学旅行に行けた。

小学3年生 女子

スクールソーシャルワーカーの紹介。慣れるまでは、いっしょに来室。小1から登校しづらかった。生活保護受給家庭。母に持病あり。毎週2回来室。担任の先生が会いに来てくれたことで、週1回の登校へ。

通室につながる経緯の事例

- 中学3年生 女子 居住地の方が紹介され、母親が相談に来られた。まずは「土曜カフェ」に連れて来られ、ピアノを弾いたり、ミシンを使って交流。母子関係がよくなった。県外の通信制高校に入学。LINEでつながりを継続している。夏休みに来室。
- 小学4年生 女子 スクールソーシャルワーカーの紹介。小学校 1 年生の 1 週間のみ登校。場面緘黙。ピアノがきっかけに。
- 中学3年生 男子
小学5年生 男子 『ひきこもり不登校サポートブック』をご覧になった母親が直接電話をしてこられ、相談に来られた。次週より子どももいっしょに来室。両学校の先生方も訪問して下さり連携。
- 高校1年生 男子 学校の先生の紹介で小学生時より「子ども食堂」へ。中学校はほとんど登校できず。卒業時、スクールカウンセラーのすすめもあり、自らつながりを求めてくるようになり、カフェへ。定時制高校を選び、登校しつづけることができている。



ピアノやミシンを通じたふれあい

ケース会議で練った作戦



それぞれ、ものづくり



調理実習

受け止める側の葛藤

調子のよくない時に、どう接したらよいのか・・・

こちらがいかに普通にふるまうことができるか

スマホばかり見ていていいのか・・・

それがあから来れる子どももいる

利用した遊び、活かす交流

スマホで映像見ながらダンス

スマホでニュースを見ながら読む
「ニュースキャスターごっこ」

他の楽しみを子ども自ら見つける

漢字を読む
言葉を覚える
正しい日本語を
発声する

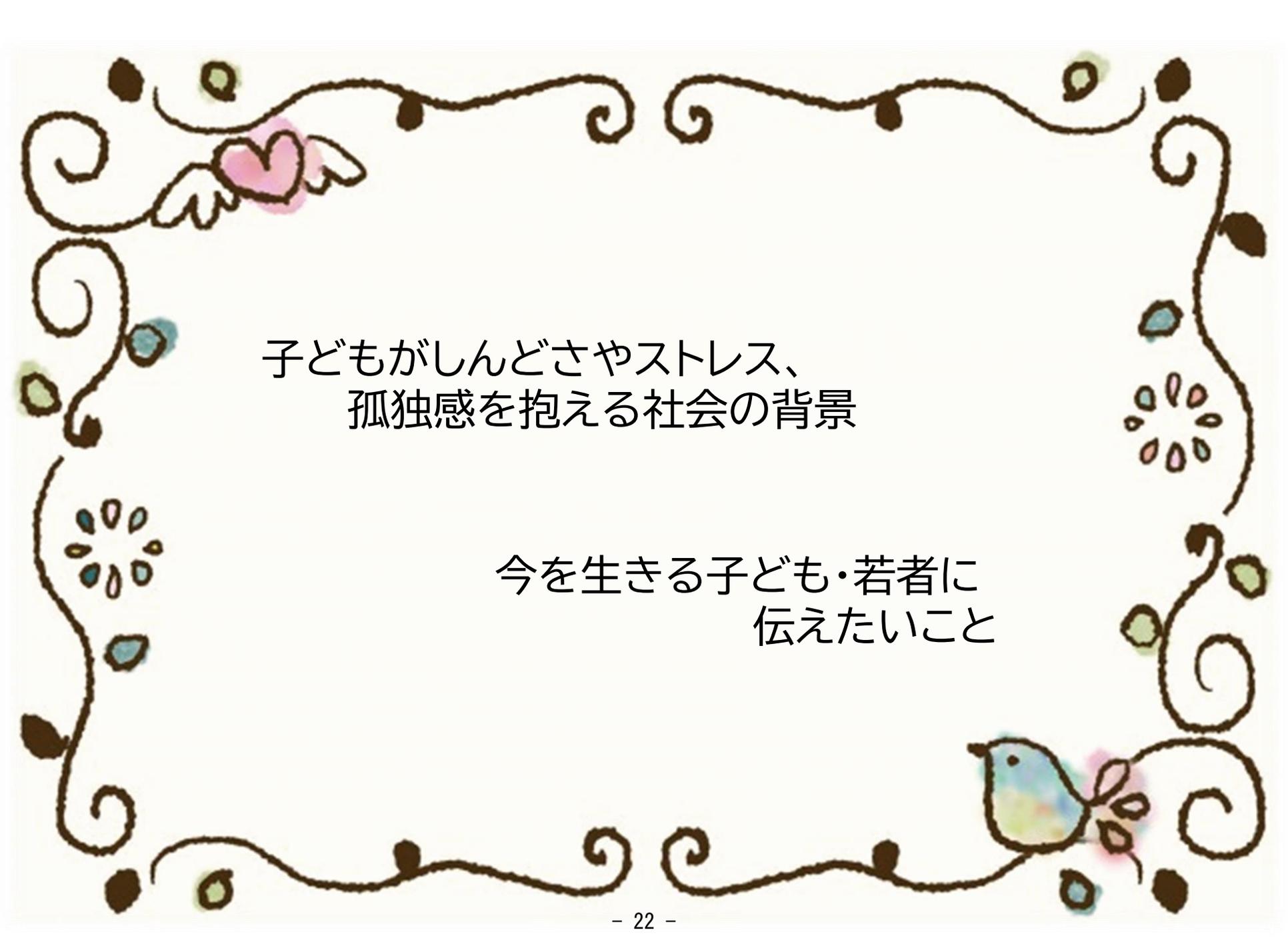




漢字を読む
言葉を覚える
正しい日本語を発声する

82歳のスタッフを誘って
窓辺で絵を描く5年生





子どもがしんどさやストレス、
孤独感を抱える社会の背景

今を生きる子ども・若者に
伝えたいこと

心 かよい合わせる時間の減少

- 習い事、塾による**多忙さ**。大人は、仕事、スマホによる多忙さ
- 助け合わずに済む **便利で効率的**な道具の増加
- **電子媒体による「遊び」**が中心。戯れるふれあいの減少

“人と同じ” ことを求められる風潮

- 「みんなと同じにできる」ことに価値が置かれがちな社会
- スマホ・・・**家に居ても**、「人と合わせる」ことが求められる

求めなくても流れてくる あふれる情報

- その年代ではまだ知らなくてよい情報も知らされてしまう
- 他者と自分とのギャップ、理想の自分と現実の自分とのギャップを突き付けられてしまう。

今を生きる子ども・若い人たちに伝えたい

私なりの(^.^)

『自分を大切に生きるための7(セブン)ルール』

- 1 人はぜったいに孤独になってはいけないし、
孤独にしてはいけない
- 2 心の痛み、体の痛みから自分を守ろう
安全な人とつながろう
- 3 「好き」を育み 感動を心に刻め
- 4 似合わないことは、無理しない
- 5 心癒してくれるものをそばに置こう
- 6 人は、お饅頭(まんじゅう)でよい
- 7 親のしんどさをしょい込むことはない

現在、虎姫学区 広報『START』に詳細を掲載中

お聴きくださり、ありがとうございました。



小林せかいさん著 『誰でもすぐに戦力になれる 未来食堂 で働きませんか』より



湖北子ども食堂「Liaison(リエゾン)」	第2水曜日	16:30～19:30
子どもの夕刻サポート「トワイライトLiaison」	その他の水曜日	17:00～20:00
学校に行きづらい日の「ほわっとLiaison」	月・水・金	14:00～
Liaison ゆっくり英語教室「ぶる～みい」	月	14:00～15:00
コミュニティカフェ「Liaison」「健康マーじゃん」	毎週土or日曜日	14:00～17:00
水彩画を楽しむ会	毎月1回 ほぼ第3土曜日	16:30～19:30

遊びにいらしてください。
ケーキを焼いてお待ちしております……



公式アカウントご登録
お願いします……



北居理恵 RIE KITAI

ていく りえぞん
NPO法人Take-Liaison 副理事長

社会福祉士

スクールソーシャルワーク スーパーバイザー

E-mail:

ree-k@gaia.eonet.ne.jp



好きなもの・・・ピアノ（習い始めて2年）、野球、車の運転
苦手なもの・・・お釣りの計算、数量が覚えられない、貯金
わるいクセ・・・忘れ物、落とし物、あわてんぼう
将来の夢・・・バリスタ